

平成29年度 学校の教育活動に関するアンケート 集計結果 (保護者アンケート)

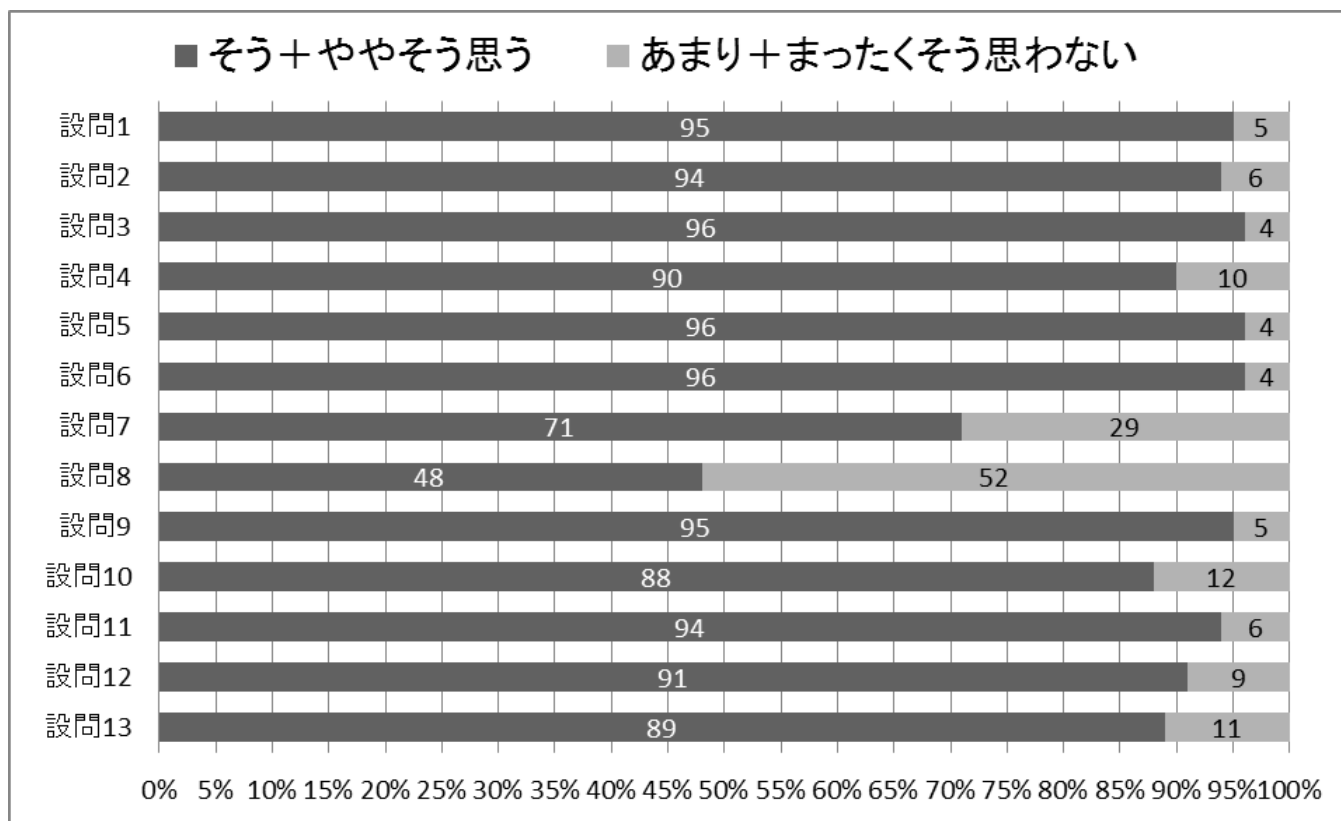
平成29年11月実施

得点	評価基準
4	そう思う
3	ややそう思う
2	あまりそうは思わない
1	まったくそう思わない

設問	評価内容 (カッコ内は、得られた回答数)	29年度	28年度
		得点平均 (183)	得点平均 (186)
1	お子さんの様子から、学校生活は楽しそうで充実していると感じることができますか。	3.65	3.68
2	お子さんへの指導は、工夫や改善により、実態に応じたより適切なものになっていますか。	3.47	3.55
3	保護者面談の話し合いでは、「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」等について、お子さんの指導について、十分な説明を受けていますか。	3.67	3.73
4	お子さんのことについて、必要な面談や相談の機会がとれ、十分な情報交換がされていますか。	3.49	3.58
5	通信票はお子さんの成長の様子を的確に伝え、適切に評価されたものになっていますか。	3.68	3.75
6	学校はお子さんの健康について配慮し、適切に対応していますか。	3.64	3.71
7	校舎内外は安全で清潔ですか。	2.93↓	3.12
8	学校には学校生活に必要な施設設備が整っていますか。	2.53↓	2.69
9	学校は学習の様子を学校便りや学年・学級通信等によく知らせていますか。	3.57	3.65
10	学校は進路・福祉関係の情報を適切に提供していますか。	3.42	3.48
11	学校は交流学習や居住地校学習、地域での現場実習、作品展を通して、地域とのつながりが図られていますか。	3.39	3.45
12	学校はPTA活動等において保護者との連携を積極的に行っていますか。	3.40↓	3.50
13	学校徴収金や就学奨励費の事務手続きは分かりやすく行われていますか。	3.37	3.40

<上下の矢印記号は、前年度より0.1ポイント以上変動があった項目について記載>

<保護者アンケート集計結果に関する分析・考察>



①評価が良かった項目(そう思う+ややそう思う:91%以上とする)について

13項目中8項目(62%)で良い評価をしていることから、おおむね、本校の教育活動を好意的に見ていただいていると思われる。これらの評価に甘んじることなく、今後も改善を図りながら、よりよい教育活動を実践していきたい。

②評価があまり良くなかった項目(あまり+そう思わない:10%以上とする)について

13項目中5項目(38%)で評価があまり良くなかった。その中でも特に、設問7「校舎内外の安全・清潔」については、昨年度も厳しい評価をいただいている項目であり、安全面・清潔面について、さらに意識を高めて取り組む必要があると考える。また、設問8「施設・設備の整備」についても、昨年同様に半数近い保護者が厳しい評価をしている。現有施設・設備の有効活用の工夫とともに、計画的に必要な施設・整備の整備に向けた取り組みを進めていくことが求められている。

なお、昨年度、長年要望してきたプレイルーム1～5へのエアコン設置が決まり、3年計画で順次整備する中で、今年度夏にはプレイルーム1と5のエアコンを実際に稼働することができた。引き続き、保護者の声も参考にしながら、学習環境や施設・設備の改善に努めていきたい。

設問4「面談等の機会と情報交換」、設問10「進路・福祉関係の情報提供」、設問13「事務手続き」については、1割の保護者が「あまりそう思わない」と評価していることから、引き続き、丁寧で分かりやすい説明や情報提供を心掛けていきたい。

平成29年度 重点目標評価シート 集計結果 (教職員アンケート)

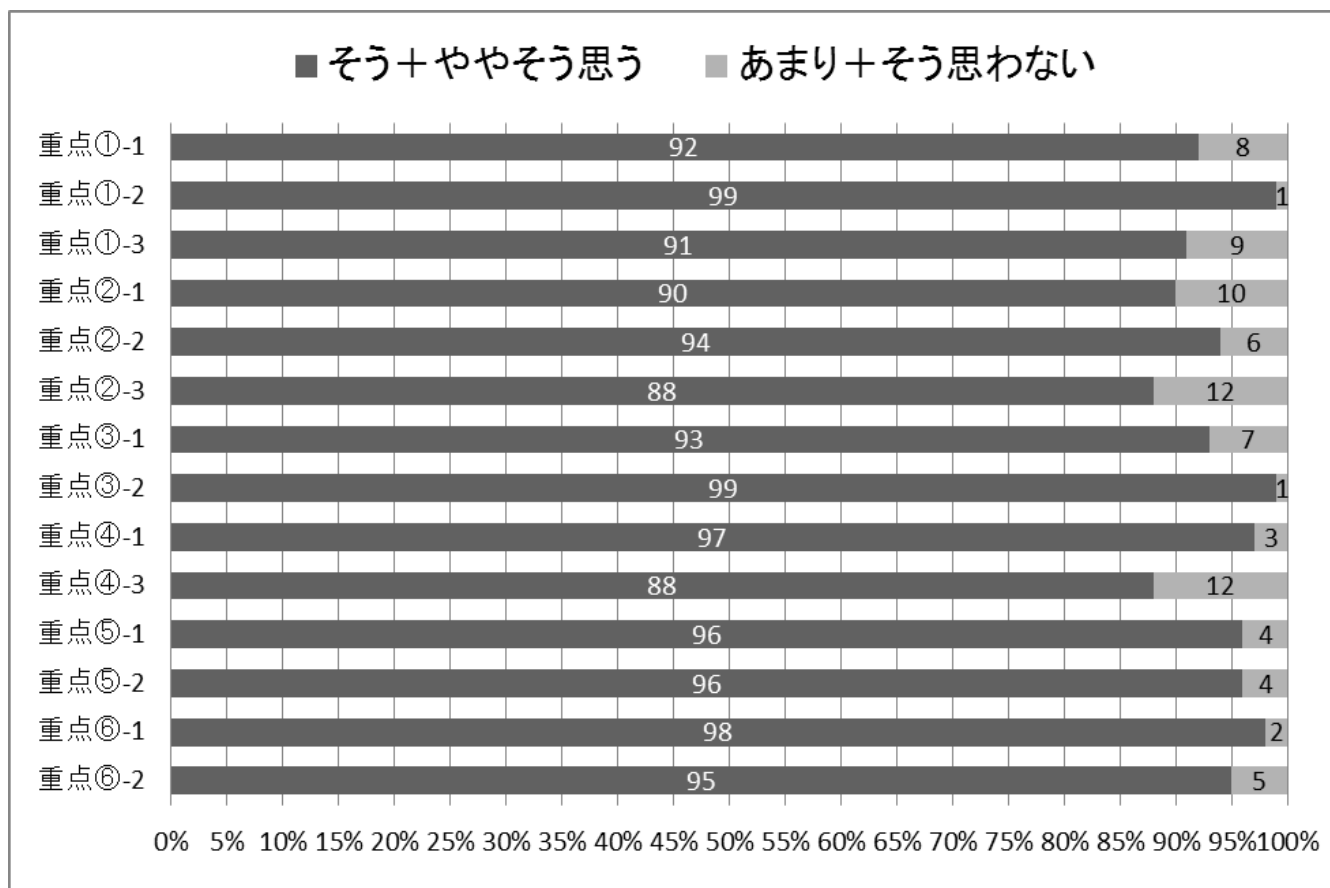
平成29年11月実施

得点	評価基準
4	そう思う
3	ややそう思う
2	あまりそうは思わない
1	そう思わない

重点目標	評価内容	得点平均
① 児童生徒一人一人のニーズに応じた指導・支援の充実	1 小学部・中学部・高等部の一貫性を大切にし、「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」等の効果的な活用が図られている。	3.29
	2 保護者や関係機関との連携・協力を深め、ケース会議や面談等、校内外の支援の充実に努めている。	3.69
	3 児童生徒の実態に応じた教育課程の編成・見直しに努めている。	3.36
② 教員の指導力・実践力の充実・向上	1 これまでの研究の成果や課題を整理し、授業研究や事例研究等を通して、共同研究をさらに推進している。	3.28
	2 学校課題の解決に向けての基本的な研修を計画的に行い、授業の質の向上に努めている。	3.38
	3 校内外の研修等を通して、教職員一人一人の専門性の向上に努めている。	3.27
③ キャリア教育の充実	1 児童生徒の発達段階に即した「生き方」や進路に対する意識の向上に努めている。	3.44
	2 労働・福祉関係機関等との連携を図りながら、的確な情報収集に努め、本人の希望に沿った進路の実現に努めている。	3.58
④ 地域に開かれた学校づくり <small>(2は富谷校・塩釜校関連のため省略)</small>	1 交流学习や居住地校学習、地域貢献等を通して、地域との交流及び共同学習や理解推進活動を積極的に行っている。	3.62
	3 学校ホームページ等による情報提供の充実に努めている。	3.17
⑤ 危機管理体制の確立	1 日常的に児童生徒の危機管理上の情報を適切に把握し、必要に応じて迅速な対応が取れるような体制を整えている。	3.58
	2 学校安全計画の見直しを図りながら、組織的な危機管理体制の構築を進めるとともに、児童生徒の危機管理能力の伸長を図っている。	3.47
⑥ センター的機能の発揮	1 校内支援体制の充実に努めている。	3.54
	2 校外の関係諸機関との連携を更に進めながら、幼稚園、保育所、小中学校、高等学校及び関係諸機関との連携の強化及び支援の充実に努めている。	3.53

〈データ数:112〉

<教職員アンケート集計結果に関する分析・考察>



①評価が良かった項目(そう思う+ややそう思う:91%以上とする)について

前年度よりも全般的に肯定的な評価が増え、14項目中11項目(全体の79%)で評価が良かった。特に、重点目標①-2「保護者・関係機関との連携」、③-2「労働・福祉関係機関との連携」、④-1「地域との交流・理解推進」については、とても高い評価であった。地域支援部・進路指導部を中心とした関係諸機関との連携や居住地校学習、近隣小中高校との交流学习等の取り組みが高く評価されていると分析される。今年度より追加となった重点目標⑤・⑥についても、高評価が得られた。今後も、引き続き、危機管理体制や校内支援体制の充実を図っていきたい。

②評価があまり良くなかった項目(あまり+そう思わない:10%以上とする)について

14項目中3項目(全体の21%)で評価が比較的良くなかった。昨年度評価があまり良くなかった重点目標②-1「共同研究の推進」については、生活単元学習の全校授業研究が推進されたことで、評価が改善された。重点目標②-3「教職員の専門性の向上」については、児童生徒の障害特性や多様な実態に応じた学習指導の向上を目指し、研修会へのさらなる参加や研修機会の設定の必要性を感じていることが読み取れる。また、重点目標④-3「学校ホームページ等による情報提供」については、設問に示されている学校ホームページによる情報発信を中心に、さらなる充実が必要と感じていることが読み取れる。現状のホームページの更新を活性化させるとともに、県立学校のSWANⅢへの移行に伴う新しい学校ホームページの活用とともに情報発信の検討を進めていきたい。